BELIEV IN THE POWER OF SPORTS
スポーツで突進

とどけよう スポーツのチカラを東北に！

宮城県気仙沼市　2015.7.24(金)～7.26(日)

主催：東京都・(公財)東京都体育協会

主管：東大和市体育協会

後援：東大和市

協力：東大和市少年軟式野球連盟

協賛：東大和市商工会
㈱西武ライオンズ
東京東大和ロータリークラブ
加藤商事㈱
㈲ワンステップ
中華料理「空龍」

会場：創価学園　東大和グラウンド
中小企業大学校　東京校

宮城県気仙沼市　＆　東京都東大和市

1　実施日時　平成２７年７月２４日（金）～２６日（日）
2　主管　　　東大和市体育協会
3　後援　　　東大和市
4　協力　　　東大和市少年軟式野球連盟
5　会場　　　中小企業大学校　東京校　ほか

スポーツ交流事業【宮城県気仙沼市・東京都東大和市】日程表

7月24日(金)			7月25日(土)			7月26日(日)		
5:30	出発	気仙沼市立面瀬小学校						
			7:00	起床	各ホームステイ先	7:00	起床	各ホームステイ先
7:30	休憩	長者原SA (宮城県大崎市)	7:30	朝食	各ホームステイ先	7:30	朝食	各ホームステイ先
			8:30	練習開始	創価学園 東大和グラウンド			
			9:00	写真撮影 開会式・始球式		9:00	送別会	中央公民館
9:30	休憩	国見SA (福島県国見町)	9:30	交流試合				
						10:30	会場を出発	中央公民館
11:30	休憩	那須高原SA (栃木県那須町)						
						11:40	昼食	新倉PA (埼玉県和光市)
			12:00	昼食				
			13:00	各ホームステイ先へ				
13:15	休憩 昼食	蓮田SA (埼玉県蓮田市)						
14:00	役員・スタッフ集合	中小企業大学校						
15:30	気仙沼市チーム到着 歓迎交流会	中小企業大学校						
17:00	移動 選手はホストファミリーと移動							
17:30	西武ドーム到着	西武ドーム						
18:00	野球観戦							
21:00	ホームステイ先へ移動					21:00	気仙沼市到着	気仙沼市立面瀬小学校

１日目（2015/7/24）

出迎え（東大和市　中小企業大学校東京校）

▲１０時間のバス移動で東大和市に到着

▲歓迎を受ける気仙沼市の選手・スタッフたち

歓迎会

▲気仙沼市選手の入場

▲主催者代表挨拶　東京都　早崎部長

▲来賓挨拶　東大和市　尾崎市長

▲招待チーム選手代表挨拶　熊谷選手

1 日目（2015/7/24）

▲全員で記念撮影

▲ホストファミリーとの対面

地域交流プログラム　プロ野球観戦

（所沢市・西武プリンスドーム
　埼玉西武ライオンズ
　　VS　北海道日本ハムファイターズ）

オーロラビジョンで紹介されました ▶

▲西武　中村選手の満塁ホームランに感動

▲ラッキーセブンで応援に熱が入る

２日目（2015/7/25）

開会式・交流試合（東大和市・創価学園東大和グラウンド）

▲主催者挨拶　都体協　並木理事長

▲実行委員長挨拶　谷村都議

▲都体協　並木理事長から記念品贈呈

▲谷村実行委員長から記念品贈呈

▲東大和市　尾崎市長による始球式

▲整列

２日目（2015/7/25）

▲真剣勝負

▲やったぜ、得点

▲被災後、気仙沼市にバッティングセンターをつくられた千葉清英さんからの特別講話

▲交流試合２試合の結果
（上：第１試合　下：第２試合）

▲関係者との記念ショット

１～３日目（2015/7/24～26）

ホームステイ先での様子

▲ホワイトマナーズ
萬亀山家・高野家

▲ホワイトマナーズ　和田家

▲四小イーグルス　長島家

▲芋窪アトラス　宮代家

▲八小ライダース　鳴村家

▲十小上北台ストロングス　岩田家

▲十小上北台ストロングス　高橋家

３日目（2015/7/26）

送別会（東大和市中央公民館）

▲谷村実行委員長挨拶

▲面瀬小学校少年野球部
吉田監督と熊谷キャプテン

▲全員でお見送り

▲気仙沼に向けて出発

▲また、お会いしましょう！

●宮城県気仙沼市「面瀬小学校野球部」ご招待の経緯

宮城県気仙沼市に２０１４年オープンしたフェニックスバッティングセンター。
ここを開設した千葉清英さん瑛太くん親子は、東日本大震災で大切なご家族７人を津波で亡くされました。
「家族を失って生きる気力を無くし、これからどうしていいのかわからない毎日でした」と清英さんは当時を振り返ります。そんな清英さんが新たな一歩を踏み出すきっかけとなったのは、唯一残された家族の瑛太君の一言です。
「震災後、気分転換も兼ねて、息子と奥州市にあるバッティングセンターに行ったんです。息子も僕も野球が大好きだから。そして息子が気仙沼にもこういう場所があったらいいね、と。その時、ふと思ったんです。そうだ、何もかも失ったこの街に必要なのは、まずは家族みんなが笑顔になれる場所なんだ、ってね。」
千葉さんは本業の乳製品販売の経験を活かし、全国の物産展で販売し、その売り上げを建設資金に充てるとともに、銀行からも資金を借り入れ、夢を実現されました。（みやぎ観光復興支援センタースタッフブログより引用）

ここにも、野球を支えに頑張っている野球少年がいると思いました。震災当時１０歳だった瑛太くんはすでに中学２年生でしたが、震災後瑛太くんが所属していた面瀬小学校野球部を招待させていただき、お父さんの千葉清英さんには交流試合に来ていただき、お話も聞かせてもらいました。

フェニックスバッティングセンターには、７つのボックスがあるそうです。それは、亡くなられたご家族７人という思いからとのこと。瑛太君との約束を絶対に果たそう、この約束だけは絶対に守らなければならないと必死に取り組まれたそうです。そして千葉さんは言います。「１人でみる夢は寝ているときに見るものだけど、みんなでみる夢（YUME)は You&Me となり、希望につながる。だから、絶対に夢をあきらめないことが大事である。」と、話してくれました。

今年も野球を通して、東大和市・気仙沼市の野球少年たちの心に多くの思い出を残すことが出来たと感じています。この事業を支えてくれている多くの関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

実行委員会

●　感想文

東大和市交流事業に参加させていただいて

面瀬小学校野球部監督　吉田　純一

今回の東大和市交流事業は子供たちにとっても、我々引率させていただいた親にとってもとても有意義な時間を過ごせましたし、特に子供たちにとってはとても大きな思い出になったと思います。

東日本大震災から５年が経過しました。皆さんをはじめ、たくさんの方々のご支援のおかげで通常の生活を取り戻しつつあります。ですがまだまだ復興道半ばです。仮設住宅に入居されている方もたくさんおりますし、生活に不自由さを感じている方々もたくさんおります。大人であればと思いますが子供たちは本当に可哀想そうです。運動できるはずの学校の校庭に仮設住宅が建っており、好きなスポーツを思い切りできない状態にあります。早くその環境だけは解消して欲しいと願ってやみません。野球部の子供たちも同様で限られた時間と場所で練習をしています。そういった中で今回のような交流試合はとてもいい経験になったと思います。ましてや創価学園の大きな球場で試合ができたことは本当にありがたいことです。またホームステイは正直、親も子も不安はあったと思いますが、２日目、３日目と日々急激に子供たちが成長していると感じることができました。受け入れ先のホストファミリーの皆様には大変ご苦労おかけしたと思います。本当にありがとうございました。

最後になりますが、この度は東京都様、東大和市様、東京都体育協会様、東大和市少年軟式野球連盟様他たくさんの方々たちのご尽力により我々面瀬小学校野球部をご招待いただきありがとうございました。この素晴らしい『縁』を大切に末永いお付き合いをお願いしたいと思います。すべての皆様にこの書面をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ホームステイ先：八小ライダース　鴨村宅

東京交流試合を通して

気仙沼市　６年　熊谷　碧

７月２４日から２６日まで東大和市のみなさんから招待され野球部のみんなと行ってきました。僕は初めてのホームステイだったので緊張しましたが家族のひとりとして迎え入れてくれたので楽しく過ごすことができました。

僕が特に心に残ったものを考えてみましたが、プロ試合観戦や交流試合、プールなど、やること全てが楽しく、１つにしぼることができませんでした。

１日目のプロ野球観戦は応援していた西武が負けてしまったけど、やっぱりプロは違うなと思いました。特に中村の２本のホームラン、満塁ホームランを見れて良かったです。

２日目は、交流試合やプールや夕食、バッティングセンターに連れて行ってもらいました。交流試合ではとても大きな球場で東大和の選手たちと試合ができてとても楽しかったし、ホームランを打つことができてとてもうれしかったです。試合後のプールでは気仙沼にあのようなプールやウォータースライダーがないのでとてもいい経験になりました。

３日目は、もう帰るのかとがっかりしてしまいました。だけど、とてもいい経験と、いい思い出を作ることができました。もっと成長して、またみんなと試合をしたいなと思います。本当にありがとうございました。

スポーツ交流事業の思い出

気仙沼市　４年　尾形　太聖

７月２４日から２６日までの３日間、スポーツ交流事業へ参加してきました。とても楽しみにしていたのは西武ライオンズ対日ハムの試合を生で見れてうれしかったです。交流試合は１勝１負だったけど、ぼくは２試合ライトを一生けんめい守りました。

ぼくは、この３日間で今まで体験した事のないホームステイをしました。初日はどんなホストファミリーなのかなぁと思ったけれどすぐに仲良くなりました。鴫村快君の家では、僕と同じ３人兄弟でした。みんなでしゃぶしゃぶを食べに連れて行ってもらったり、市民プールに行ったり、一緒にお風呂に入ったりたくさんの思い出ができました。

これからも、もっとたくさん練習して強くなって快君に会いに行きたいです。

ホームステイの感想

東大和市　６年　鴫村　快

７月２４日から７月２６日まで６年生が１人、４年生が１人、宮城県気仙沼市からホームステイしにきました。

１日目西武プリンスドームに行ってプロ野球を見ました。

２日目は気仙沼のチームと交流試合をしました。１回目は勝って２回目は負けたけど、いい試合でした。

８月、家族で気仙沼に行ってホームステイした子たちと千葉さんのバッティングセンターに行きました。また二人に気仙沼にいって、あいたいです。

初めてのホストファミリー

東大和市　保護者　鴫村　美智代

期待と緊張で胸を膨らませ、いよいよその日がやってきました。

わが家へは、面瀬小少年野球部六年キャプテンの熊谷碧君と四年の尾形太聖君が来てくれました。歓迎会では少しぎこちなかった子ども達、西武ドームへ向かう車中で少しずつ打ちとけ、楽しく試合観戦できました。

二日目は、すばらしいグランドで交流試合。外野にかげろうが立つほど暑い中、皆全力でプレーしていました。

試合終了後、八小ライダースが練習しているグランドへ行って交流し、そのあとは市民プールやバッティングセンター、卓球と色々なことをして元気いっぱい遊びました。

お盆休みには家族で、気仙沼市の熊谷碧君のお家に遊びに行きました。とても手厚くもてなしてくださいました。震災後できたバッティングセンターや震災資料館、漁港や釣りに連れていっていただいたり、バーベキューをしてくださったりと、とても楽しい時間を過ごしました。

少年野球を通じて、面瀬小のみなさんと出会う事ができ、とてもうれしく思っています。できれば、もう少し長く滞在していただいて、色々な所へ遊びに行ったり、チーム引率の方々とも交流したりしたかったです。

ホームステイ先：ホワイトマナーズ　和田宅

はじめてのホームステイ

気仙沼市　６年　畠山　光貴

朝５時にバスに乗り１０時間かかって東大和市に着きました。ホームステイ先は和田さんのお宅でした。最初は緊張していたけど話していくうちに緊張はなくなっていました。車に乗せてもらい日本ハム対西武の試合を見ました。僕は、日本ハムを応援しました。５回に大谷から連発、王に並んだ中村の最多１５発のホームランがすごいなと思いました。７回に帰ってしまったけど、点数を見てみると日本ハムが勝っていてうれしかったです。

２日目は、交流試合の１試合目の先発をすると言われました。試合の中での思い出は１点差で負けてしまったことがくやしかったです。千葉さんのお話を聞いているうちにお腹がくるしくなって周りの大人たちに迷惑をかけてしまいました。３日間は短かったけどいい思い出になりました。ありがとうございました。

東京えんせいにさんかして

気仙沼市　３年　阿部　琥太朗

ぼくは、東京のえんせいにいってよかったです。１日目、東大和市のみなさんがかんげいかいをひらいてくれました。はじめて東京のおともだちができました。その後は５年生のやまとくんのおうちにとまりました。２日目はこうりゅうしあいをしました。東京のチームはつよかったです。あつかったけどたのしかったです。２日目の午後はバッティングセンターにいきました。いっぱいうてたので良かったです。その後ホストファミリーとおすしやさんにいきました。たくさんたべてよかったです。ぼくはみづきくんとやまとくんと野球ゲームをしました。３人でなかよくできて良かったです。お風呂も３人ではいってたのしかったです。やまとくんとなかよくなれてよかったです。

ホストファミリー

東大和市　５年　和田　倭

ぼくの家に来た子は、６年生と３年生の子が来ました。

６年生のみづきくんはにぎやかで、３年生の阿部くんはいつも元気で、二人とも野球が好きで１日に野球ボールをなげないときがすまないと言っていました。

２日目は交流試合が終わり、バッティングセンターに行きました。みづきくんは、１００キロの球をバコンバコン打ってうれしいと思いました。阿部くんは速い球にもちょうせんしていました。みんなと２日いて、たのしかったです。

ホストファミリーを終えて

東大和市　保護者　和田　美紀

はじめてお話しをいただいた時は、大変なのではないかと戸惑いましたが、息子の夏の貴重な思い出になればと思い、引き受けることにしました。六年生の畠山君と三年生の阿部君が我が家に来てくれま

した。しっかり者の畠山君と野球大好きな阿部君と、息子が打ち解けるのも時間はかかりませんでした。

西武ドーム観戦では興奮し、交流試合では暑い中がんばりました。自由な時間ではバッティングセンターに行き、公園でも遊びました。夜は、野球ゲームで盛り上がり、大汗をかいていました。野球漬けの２日間は、思い出深い日として心に刻まれたことでしょう。

私自身も、かわいい息子が二人も増えて、楽しそうな野球少年達に胸を躍らせておりました。息子の成長を垣間見ることも出来、忘れられない夏の思い出になりました。

ホームステイ先：四小イーグルス　長島宅

初めてのホームステイ

気仙沼市　６年　小野寺　啓

僕が知らない人の家に泊まるという体験は初めてでした。僕がお世話になった家は長島元気君の家でした。最初はあまり声をかけることが出来なかったけど、時間がたつにつれ会話が多くなっていきすぐに仲良くなりました。次の日交流試合がありました。お互いにいいプレーをし１勝１負の引き分けと接戦でした。そのあとはお昼を食べ自由時間となりました。僕は「他のチームは市民プールへ行く」と言っていたので自分たちは楽しみに待っていました。そしたら「ラウンドワン」に行くとなりすごくうれしかったです。約３０分後にやっと着きました。ボールのプールで遊んだり、ローラースケートなどいろいろな物ですごく楽しく遊びました。そのあとは温泉に行き電気風呂や水風呂が印象的でした。そのあとはお好み焼き、もんじゃ焼き、チヂミの食べ放題の店に行きいっぱい食べ、かき氷、ドリンクもいっぱい飲みました。そして次の日とうとう別れの時が来てしまいました。別れがつらかったです。すごく楽しい２泊３日でした。そして最高の友達に出会えその事がうれしかったです。３日間本当にありがとうございました。

東京に行って思ったこと

気仙沼市　４年　小野寺　健人

まず、東京に行った第一いんしょうで思ったことは「・・・でかいな」建て物がとにかくでかくて高いビルがたくさん立っていました。けれど東大和市は自然が豊かでとてもいいところでした。そして西武ドームで大谷のごう速球、中島のファインプレーそして中村のホームランにかんどうしました。ホームステイ先の長島家のみなさんきちょうな体験いろいろと本当にありがとうございました。元気君、僕も一生けんめい野球に打ち込みますので、将来、甲子園そしてプロで一緒にプレーしましょう。

楽しいスポーツ交流

東大和市　６年　長島　元気

自分は、今回のスポーツ交流事業ができて良かったと思います。東大和にきた宮城県気仙沼市面瀬の選手と楽しく遊んだり、約３日間いっしょにすごす仲間と敵になって試合をしたり、とにかく楽しくできてよかったと思っています。これからも東大和でスポーツ交流事業をつづけていってほしいと思います。

今度また会えたら、面瀬に行って面瀬小学校少年野球部のみんなと野球をしたいです。また会える日を楽しみにまっています。今度は、啓と健人の家にとまって楽しみたいと思います。

ホームステイ

東大和市　保護者　長島　清司

我が家には６年生と４年生の２人がホームステイに来てくれました。

初日は３人ともぎこちなく、西武ドームでの写真にも距離がありました。

２日目は、交流試合を終え、午後からの自由時間、子供達の距離も縮まりお互いを名前で呼び合うようになり、笑顔もふえ、夜も遅くまで話をしたりしていたようです。

最終日にはすっかり友達になっていました。そんな子供達を見ていて、私もとても楽しませてもらい、元気をもらいました。子供達も貴重な経験ができ、スポーツ交流事業に参加でき良かったと思います。

ありがとうございました。

ホームステイ先：芋窪アトラス　宮代宅

東京遠征を終えて

気仙沼市　６年　石橋　政五

僕は今回の東京遠征で多くの体験をすることができました。その中で、心に残ったことが二つあります。

一つ目は、交流試合でのことです。僕は試合前に、宮城県と比べて東京はとても暑いと感じました。東京の人たちは、この暑さの中で練習をしているので、とても強いチームではないかと思い、僕は気を引き締めて試合を頑張ろうと思いました。交流試合では、勉強になったプレーが多く、今後の練習に活かしたいと思いました。

二つ目は、試合が終わった後に芋窪アトラスの友達とお祭りに行ったことです。お祭りも楽しく、芋窪アトラスの友達と仲良くなれたので、うれしかったです。僕の地元でも「気仙沼みなとまつり」があります。次は気仙沼で会い、試合をしたり、一緒にお祭りに行ったりしたいと思いました。

今回の遠征では、ホストファミリーの宮代さんのお宅に宿泊をさせていただき、智君や家族の皆さんにとても親切にしていただきました。宮代さんはじめ、多くの方々のお世話をいただいて、とてもいい経験をすることができ、感謝しています。本当にありがとうございました。

東大和の感想

気仙沼市　４年　梅森　翔也

ぼくは、7月２４日から２６日まで野球部のみんなと東大和市へ行きました。２４日は気仙沼を出発して中小企業大学について、宮代家とその友達２人と西武ドームへ行き１０時ごろまで野球観戦をしました。結果は日ハムが勝ちました。そして宮代家宅へとうちゃくし１１時ころにねました。２５日は6時半ころに起きました。そして7時４０分ごろに宮代家を出発して創価学園グラウンドにとうちゃくして練習、写真撮影、開会式、始球式をすまして試合がはじまりました。１回戦目は負けました。２回戦目は勝ちました。その後芋窪アトラスの練習にさんかしました。夜は祭りでした。無料だから得しました。楽しかったです。２６日は中央公民館で送別会がありました。ありがとうございました。

楽しかったホームスティ

東大和市　５年　宮代　智

ぼくの家にきた子は６年生と４年生でした。

１日目は西武プリンスドームでプロ野球をみました。とても楽しかったです。２日目は交流試合がありました。２回試合をして１対１でした。午後はアトラスで一緒に練習をしました。暑くて苦しい練習だったけど、２人は良く頑張っていました。

ホストファミリーを経験して

東大和市　保護者　宮代　美穂

今回、初めて７月に３日間の日程でホストファミリーとして、気仙沼市の少年野球チームの６年生と４年生の２人を受け入れさせて頂きました。

対面式ではとても緊張していましたが、すぐにプロ野球観戦で西武球場に移動する車中で色々話して打ち解けてくれました。

２日目は交流試合、そして、アトラスでの暑い中の厳しい練習を終えて、６年生の政五くんは「これで帰ってからもどんな練習にも耐えられる！」と言ってくれた事が嬉しかったです。４年生の翔也くんもアトラスの子達と楽しそうに笑いながら話していた事を覚えています。

私にとっても普段と違う色々な経験が出来て本当に良かったと思っています。いつかまた成長した２人に会いたいです。

うちに来てくれて本当にありがとう！！

ホームステイ先：ホワイトマナーズ

萬亀山宅（１泊目）・高野宅（２泊目）

ホームステイでも思い出

気仙沼市　６年　髙橋　雄哉

７月２４日に東京遠征で東大和市に行ってきました。少し不安なところもいくつかありましたがなんとかやりとげることができました。はじめはどんな人なのかとても気になっていました。でもとても優しい人で安心しました。ホームステイは人生で初めての経験でしたがとてもいい思い出になりました。１日目と２日目はそれぞれ違う家に宿泊させていただきました。１日目も２日目もどちらも楽しく過ごすことができました。１番楽しかったのはみんなで行った市民プールです。本当に楽しい３日間だったととても思っています。本当にありがとうございました。

とうきょうへとまったこと

気仙沼市　２年　熊谷　柊舞

ぼくは２４日から２６日までホームステイにとまりました。東大和のしらない人のおうちにいくのはドキドキしました。だけど、すぐおともだちになりました。そしてたくさんしゃべりました。ここで、ともだちにならないとそんするとおもったので、ともだちになれてよかったし、とてもたのしかったです。いっしょにねたり、いっしょにキャッチボールしたりしたので、いつもよりたのしかったです。２日目は、ちがうおうちにとまりました。でもみんなとともだちになっていたのでドキドキはあまりしなかったです。すごくいいともだちだったのでけんかはぜんぜんしませんでした。なのでとてもたのしかったです。この日のことはぜったいわすれません。つぎは気仙沼でやりたいです。

初めてのホストファミリー

東大和市　３年　萬亀山　由宇太

ぼくは金曜日に初めてホームステイをやりました。

一番初めに中小企業で気仙沼の子に出会い、あいさつをしてからプロ野球観戦に行きました。高橋ゆうやくんとくまがいしゅうまくんとおうえんし、一緒にねたりしました。みんなで朝早く起き、野球をやったり朝ごはんをたべました。朝ごはんを食べ、そうか高校に行き、そうか高校から高橋くんとくまがいくんとちがうベンチで、それぞれ行動し、それぞれアップをしました。

面瀬チーム対東大和チームの試合をやり、けっか一勝一敗でした。その後にみんなで市民プールに行き、家でバーベキューや花火もやりました。１０時ごろにねて、いよいよ別れの日が来ちゃいました。別れるときにちょっとお話があったり、写真さつえいをしました。気仙沼の子がバスに乗るとき、ちょっとなみだが出てしまいました。バスが行ったときは、もう泣いていました。でも、交流試合や市民プールに行けてよかったです。初めてのホームステイがとても楽しいホームステイで良かったです。

大切な思い出

東大和市　６年　高野　大翔

ぼくは、初めに選手代表あいさつをやらせてもらいました。前日コーチから急に言われたので、すごく緊張しました。でも、かまずに言えたのでよかったです。

プロ野球観戦やいろいろな事があり、その中で一番楽しかったのはプールです。プールでは流れるプールが一番楽しかったです。

千葉さんが教えてくれた、とつぜん大切な人がいなくなるのは、やだなと思いました。ぼくは、気仙沼の選手たちとずっと友達でいたいです。

今度会う時は、甲子園の決勝戦で会いたいです。３日間大切な思い出になりました。ありがとうございました。

面瀬小学校野球部との交流

東大和市　保護者　萬亀山　三千代

気仙沼市の面瀬小学校野球部、六年生高橋雄哉君と二年生熊谷柊舞君を受け入れて、二泊三日共に過ごしました。

落ち着いていて笑顔の素敵な雄哉君と明るくて元気いっぱいの柊舞君と、野球という共通の話題を通してすぐに打ち解け、ふざけ合っている姿はとても微笑ましかったです。

野球観戦や交流試合、プールに行ったり狭いお風呂にみんなで一緒に入ったりと、楽しい思い出がたくさんできて、親子ともども貴重な体験ができました。

お別れの時、悲しくて涙が止まらない息子をみて私まで泣けてしまいました。

野球の練習から帰ってきて写真を見てまた号泣している息子をみて、一度きりの出会いに終わりにせず、今度は気仙沼で再会できたらと思いました。

このような機会に恵まれたことに感謝すると同時に、被災地との交流がこれからも続いて行くことを願っています。

ホームステイを経験して

東大和市　保護者　高野　理恵

長男の時にもホストファミリーをさせていただき、今回で２度目となります。

前回も今回も子供達のパワーと、野球という共通点からすぐに打ち解けて遊ぶ姿に驚きとほほえましい気持ちにさせてもらいました。

試合の最中もお互いを気にし、声をかけあったり、ずっと前から友人だったようでした。帰りのバスからも窓を開け、最後まで名前を呼びながら手を振ってくれた姿がとてもうれしく感じました。

このような機会がなければ出会う事もないだろう離れた土地の子達。こうした絆を大切にしていってほしいと思います。ありがとうございました。

ホームステイ先：十小上北台ストロングス

岩田宅（１泊目）・高橋宅（２泊目）

東大和市の思い出

気仙沼市　５年　吉田　孝祐

僕の東大和の思い出は、西武球場でプロ野球の試合を見て、大谷投手の投げる球を中村選手が２本ホームランを打ったことがすごいなと思いました。２つ目は面瀬と東京の選抜チームと戦ったことです。僕はその試合で３打数３安打でうれしかったです。でも１試合は負けたけど２試合目に勝って良かったです。ホストファミリーでとまらせてもらったおうちの人とも仲良くなりました。ゾンビのゲームもやらしてもらって楽しかったです。初めて会ったのにやさしくしてくれました。プールにつれていってもらいました。楽しかったです。たこ焼きパーティーをしました。いつか気仙沼にきてほしいです。２日間の思い出は忘れません。ありがとうございました。

東大和市の皆さんへ

気仙沼市　５年　畠山　光徳

お元気ですか。僕は元気です。泊まった時に面白かったことは２つあります。１つ目はみんなでプールで遊んだことです。スライダーなどが楽しかったです。２つ目は交流試合です。僕は３打数１安打で少しくやしかったです。友達の孝祐君は３打数３安打です。３回ヒット打ちました。僕はもっと練習してうまくなりたいです。東大和市の皆さんももっと野球を楽しんで練習していろいろなことをもっと頑張ってください。

楽しかったホームステイ

東大和市　６年　岩田　雅輝

初日は、野球観戦をしました。その日は北海道日本ハムファイターズ対埼玉西武ライオンズ戦で、一番良かったことは西武ライオンズの中村選手が３００本ホームランを打ってすごかったことです。

その後に自分の家に気仙沼市の２人とストロングスの６年生全員と小さいこといっしょに遊びました。特におもしろかったのが、おふろあがりの髪形をおもしろくして遊んだことです。

これからも気仙沼市の子どもたちもがんばってください。

ホームステイ

東大和市　６年　高橋　風太

七月二十四日、中小企業大学校に面瀬少年野球部の子たちが来ました。

一日目は西武ドームで野球観戦をしました。試合は中村選手の三百号本塁打、千本安打、十五満塁本塁打とすごい記録が見られてとても楽しい試合でした。

二日目は創価高校のグランドで交流試合をやりました。僕は一試合目は六番ピッチャーで先発しました。一試合目は勝って、二試合目は負けました。

三日目は中央公民館で送別会をやりました。面瀬の子を出口まで送りました。
これからは、自分がふつうにバッティングセンターにいけること、きれいなグランドで野球ができることに感謝してプレーします。

ホストファミリー

東大和市　保護者　岩田　豊和

今年のホームステイも昨年と同様に、初日、２日目と別々の家庭で受け入れさせていただきました。
私の家庭では初日でしたので、子供たちは長旅及びその後の西武ドームの野球観戦でさぞ疲れているのかと思っていましたが、思っていたより元気で、ストロングスの６年生も全員泊りに来ていましたので、皆で夜遅くまで遊んでいました。
翌日には、まだ１日あるにもかかわらず、「なんか、帰りたくないね」とか「さみしいね」という言葉を聞いた時には、子供たちはこんなにも短時間で仲良くなってしまうものなのかと、つくづく感心しました。
この交流事業を行うことにより、被災地の皆様と２日間でしたが、たくさんの思い出を作ることができました。来年、また再来年とこの事業が続くことを期待しております。

ホストファミリーを経験して

東大和市　保護者　高橋　正

今年は気仙沼市面瀬少年野球から２人の選手を受け入れました。
交流戦の後は、みんなでプールに行ったり、夜はタコ焼きを作りながら花火大会を観たりと、楽しい思い出はたくさん作ることが出来ました。
絆、復興の一助として、末永い交流を祈っています。